



諫高だより

ふじ  
藤  
むらさき  
紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

<http://www.isahaya-highschool.ed.jp>

## 『君たちは秋に伸びる』

副校長 大久保 眞明

## 「君たちの輝くとき」

7月から9月の君たちの姿を漢字で表すならば、「忙」、「輝」ではないかと思う。確かに授業と夏季特別学習、実力試験、部活動の練習・遠征そして1年・3年の学習合宿、2年の大学オープンキャンパス、学部学科研究会と行事が目白押し。夏季休業中とはとても思えない毎日。その日々を、日頃から言われていることを実践しようと懸命に過ごしていたことは、上品な制服の着こなし、厚いカバンの携行、さわやかな挨拶、ベランダでの学習・・・を見れば、一目瞭然。

諫高生は、持つ能力を出そうと努力しているときに最も輝く。その意味で9月の二大行事、文化祭・体育大会での君たちは達成感で光り輝いていた。特に私が感動したのは、翌日に平常の生活にしっかり切り替え特別学習・授業に臨んでいる姿であり、その光景はとても美しくもあった。夏は暑いものではあるが、今年は特に記録破りの酷暑だった。そのなかで熱く燃え、見事に輝いた君たちだから、その成果は必ず「秋に伸びる」結果となって現れると私は信じる。



1年学習合宿の一コマ

## 「スターの努力と恩人への感謝」

最近、あるテレビ番組で多くのスターを輩出してきたプロデューサー秋元康氏が、スターが放つオーラについて話をしていたので紹介したい。

スターはある特定の角度から見て輝いているのであって、別の角度から見れば普通の人かもしれない。しかし、多くのスターに共通する次の2点において彼らはオーラを放つという。

①栄光をつかむまでの長い、苦しい下積みの世界を耐えて、それでも諦めなかったこと。

②スターとなる過程の中で、しかも長い下積み生活の時期、ともに歩いてくれた、感謝してもしきれない恩人をそれぞれ持っていること。

秋元氏によれば、「スターは作れない。スターは本来持っている自分の中にある輝きで世の中に出ていくだけ。僕らはそれを磨くとか、手助けをただけ。」これは「師弟同行」の諫高、「最後まで諦めない」諫高生に通じる。自分を信じて、先生方を信じて、更に努力を続けよう。

## 「夢をつかむ」

君たちが頑張れるのは、自分が自己の進路実現を果たした姿を描き、その姿に少しでも近づいていくからだろう。夢を持つことが大きな力をもたらしてくれる。今、迷っていたり、夢を持ってない人がいたら、自分を見つめ直そう。授業等でのCDA教育の取組のなかできっと解決の糸口をつかむであろう。

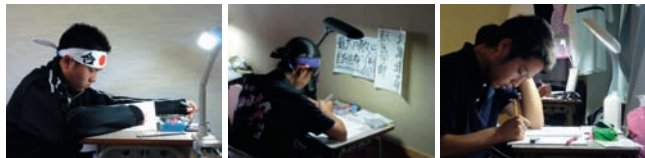
また秋元氏は、「夢というものは自分が全力で手を伸ばした先のあと1mm先にある。」という。客観的に見ていてあと数mmで届くと思励ますのだけれど、普通の人には「しかし、2m先にある」と勝手に思い、我慢できずに諦めてしまう。スターと言われる人は運を持っていると信じて諦めない。諦めないことが大きな差を産むというのである。

これも「志教育」や「最後まで諦めない」諫高生に通じる。自分を信じて、更なる一步を踏み出そう。



応援団の勇姿（体育大会での応援活動より）

# 3年生 雲仙学習合宿



夏休みに入り、校内での補習授業に続き3年生は雲仙で6泊7日(8/5～8/11)の学習合宿に臨み、受験に向けて本格的にスタートを切りました。

合宿は自分の立てた計画に基づく自学自習が中心です。分からないところは教師に質問し、徹底理解に努めます。同室の友の背中から触発され、受験生としての自覚を高めるとともに、同行する師のありがたみや時間の大切さを学びました。

黙々と机に向かう3年生

壁には目標大学への想いや自分自身を鼓舞する言葉が貼られている。中には恩師や後輩からの檄文や寄せ書きもあり、生徒の背中を押してくれる。



# 第2回高校オープンスクール開催

8月3日(火)、高校の第2回学校説明会を約500名の中学生・保護者を迎え、諫早文化会館で開催しました。校内で開催した第1回とは大きく趣向を変え、理数科物理班作製のロボットの実演や、本校教師による高校入試ワンポイントアドバイス、吹奏楽部の演奏などを盛り込み、落ち着いたのちにある中に大きな盛り上がりを見せ、「諫高」の教育を十分伝えることができたと思います。



大勢の聴衆に石部校長のプレゼンにも力が入る



ロボット実演



入試アドバイス



生徒体験談



吹奏楽部演奏

## ヒゴタイ研究班全国2位の快挙



受賞の喜びに沸く本校生物班(左)と最優秀に輝いた山口高校物理班(右)

8月の中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会(事実上の全国大会です)で見事準優勝に輝き、10月に沖縄で開かれる先生方の研修会で発表する機会を得ました。



絶滅危惧種 ヒゴタイ

## 平和学習会

8月9日(月)長崎原爆の日、長崎平和推進協会から原田美智子先生を講師にお招きし講話をいただきました。

先生の絵や音を用いた説明に原爆落下後の悲惨な長崎の光景が浮かび上がりました。



# 文化祭 『出航!! 諫臨丸』



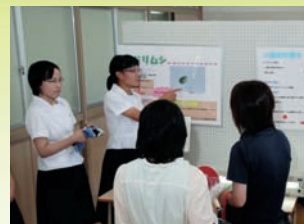
## ～99年目の諫高の秋～



夢のコラボ



龍馬がいる中庭の光景と1-5のモザイクアート



ポスターセッション

### 文化の薫り



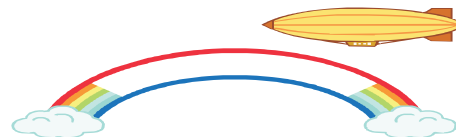
9月4日(土)、人気大河ドラマ『龍馬伝』にヒントを得た『出航!!諫臨丸～99年目の諫高の秋～』をテーマに、平成22年度文化祭が盛大に開催されました。本校保護者はもちろんのこと、これまでよりも多くの中学生に來校していただき、大いに盛り上がりました。

文化部の展示や発表は完成度の高いものが多く、理数科の課題研究ポスターセッションでは熱心に説明する本校生に改めて感心しました。短い準備期間ながら1、2年各クラスで取り組んだ展示や食物バザー、予選を勝ち抜いての合唱コンクール本選は、クラスの一体感と、創りあげる喜びや充実感を得たのではないかと思います。特にバザーで提供したカレーライスとハヤシライスは膨大な注文量で朝早くからの準備になりましたが、生徒からの評判はとても高かったようです。

文化祭では、先生方もステージや似顔絵コンクールなどで大活躍?!。体を張った演技や熱唱は『師弟同行』を旨とする本校の教育を体現するものでした。



全校一体となったフィナーレ



### 九州大会を目指す!

◇ピアノ 床井 里帆  
九州高校音楽コンクール (11/5)

◇囲碁 江副 ひかる  
全九州高校囲碁選手権鹿児島大会(11/13.14)

# 体育大会

## 律動美

# 成せる技

# 笑顔と汗



## テーマ 謙高伝

## ～光る汗90年目の秋せよ～

跳ぶ



競う



9月12日(日)曇天、一時雷をともなつたどしゃ降りの雨というあいにくの天気でしたが、かえって競技や演技に懸命に取り組む本校生の姿が、観衆と一体となった盛り上がりにつながり、記憶に残る体育大会となりました。

全校生徒949名が、8ブロックに分かれて競技を繰り広げ、閉会後の解団式では生徒と教職員が「チーム謙高」としての絆の固さを改めて実感しました。



午後の行進時の校長挨拶 保護者・地域との連帯の場

## Team Kanko



解団式 生徒・職員による「チーム謙高」体現の場

### 各部門の成績

部門	1位	2位	3位
総合の部	水色組	緑組	赤組
仮装の部	水色組	桃組	緑組
のぼりの部	緑組	水色組	赤組
行進の部	黄組	橙組・水色組	
応援の部	緑組	桃組	水色組



### おもな学校行事

#### 10月

- 10/ 2(土) 第2回県立中学校学校説明会  
1年保護者会(謙早文化会館)  
1・2年中間考査(~ 10/5)  
3年 学年末考査(~ 10/6)
- 10/19(火) 芸術鑑賞会
- 10/23(土) 1年・2年対外実力試験  
3年 県一斉実力試験(~ 10/24)

#### 11月

- 11/ 1(月) 創立記念日
- 11/ 2(火) 部活動冬時間開始
- 11/ 5(金) 県高総体駅伝競走大会
- 11/ 9(火) 1年 清掃ボランティア活動  
3年遠足(バス旅行)
- 11/29(月) 1年・2年期末考査(~ 12/2)

#### 12月

- 12/ 1(水) 2年保護者会(謙早文化会館)
- 12/ 4(土) 理数科講演会
- 12/ 8(水) 2年修学旅行(~ 12/12)
- 12/18(土) 1年・2年県下一斉実力試験
- 12/24(金) 終業式
- 12/25(土) 冬季特別学習(~ 12/28)
- 12/26(日) 全国高校駅伝(京都)